

# 別の顔

放課後は



after

人で弾くことも多いのですが、弾いていると誰かが三味線を持ってきて一緒に演奏を始めるほどの三味線家族。一緒に老人ホーム等への慰問や、地域のお祭りでの演奏など、大会以外にも様々な場所で皆さんに三味線を披露しています。特に、おじいちゃんおばあちゃん

んたちに喜んでもらっています。この楽器は、ギターのフレットのよう弦を抑える目安がありません。そのため、狙った音を出すには自分の感覚だけが頼り。まだまだ課題が多いですが、いつかは松元ファミリーで演奏会をするという夢をかなえるため、これからも三味線を続けていきます。



田崎中学校  
まつもと みゆき  
松元 美優希 さん(3年生)

中学校に入学して、三味線を習いつつ吹奏楽部にも入部。音楽は聞くのも弾くのも歌うのも好き。今は7月の大会に向けて担当楽器であるチューバの練習を重ねる。



school

祖母 母や父、2人の兄が三味線をしており、その弾く姿がかっこいいと感じ、小学2年生の時に私も習い始めました。毎週月曜日に、津軽三味線石井流の指導を受けているほか、それ以外は家で自主練をしています。家では1

昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ!



## タイムトラベル ~温故写新~

28話

### 鹿屋のプール今昔物語



夏といえばプール。現在、市内には3つの一般開放されている市営プールがあります。時を遡ること約60年、城山公園にもプールがありました。昭和35年に完成したこの市民プールは、50m×9コースの長水路で、現在も北田町で湧き続けている湧き水を利用したものでした。そのため夏場とはいえ水がとても冷たく、「冷たくて入れないほどだった」という声もあつたとか。当時の広報誌によると、6月末〜9月末までの長期間オープンしていたようで、まだ冷房などが一般的でなかった時代の暑さ対策として多くの人々ににぎわいました。その後、同規模



▲昭和38年の北田町の市民プールの様子。料金は大人20円、子ども10円で、多くの人でにぎわい、当時の広報誌には「カップ天国」と書かれていました。

の中央公園水泳プールが昭和47年に向江町に完成し、昭和57年に北田町の市民プールは城山公園となりました。その翌年、旧串良町制施行50周年記念事業の一環として、B&G海洋センターが竣工。室内プールを備え、現在も人々に親しまれています。また、アクアゾーンくしらは、平成8年にオープン。約1.5haの敷地内に、外周200mの流水プールや74mと48mの長さを誇るウォータースライダー、幼児用プールを備えたレジャープールです。地中海をイメージした構内は白で統一され、多くの家族連れや若者でにぎわいます。今年にはアクアゾーンくしが5年ぶりに営業再開。皆さんも、鹿屋のプールで夏の暑さを吹き飛ばしてください。